資料７

## 第5回 アドバイザリーボード

# 鉄鋼業における
# 休業以上労働災害を巡る現況と
# 「神戸宣言」に向けた対応・取組みについて

2022年 9月

一般社団法人 日本鉄鋼連盟

ⓒ2022 The Japan Iron and Steel Federation All rights reserved

# 第5回 アドバイザリーボード
## 一般社団法人 日本鉄鋼連盟

I. 鉄鋼業における休業以上労働災害の現況

II.日本鉄鋼連盟における「神戸宣言」への対応

ⓒ2022 The Japan Iron and Steel Federation All rights reserved

# 2021年の休業以上災害の発災状況について

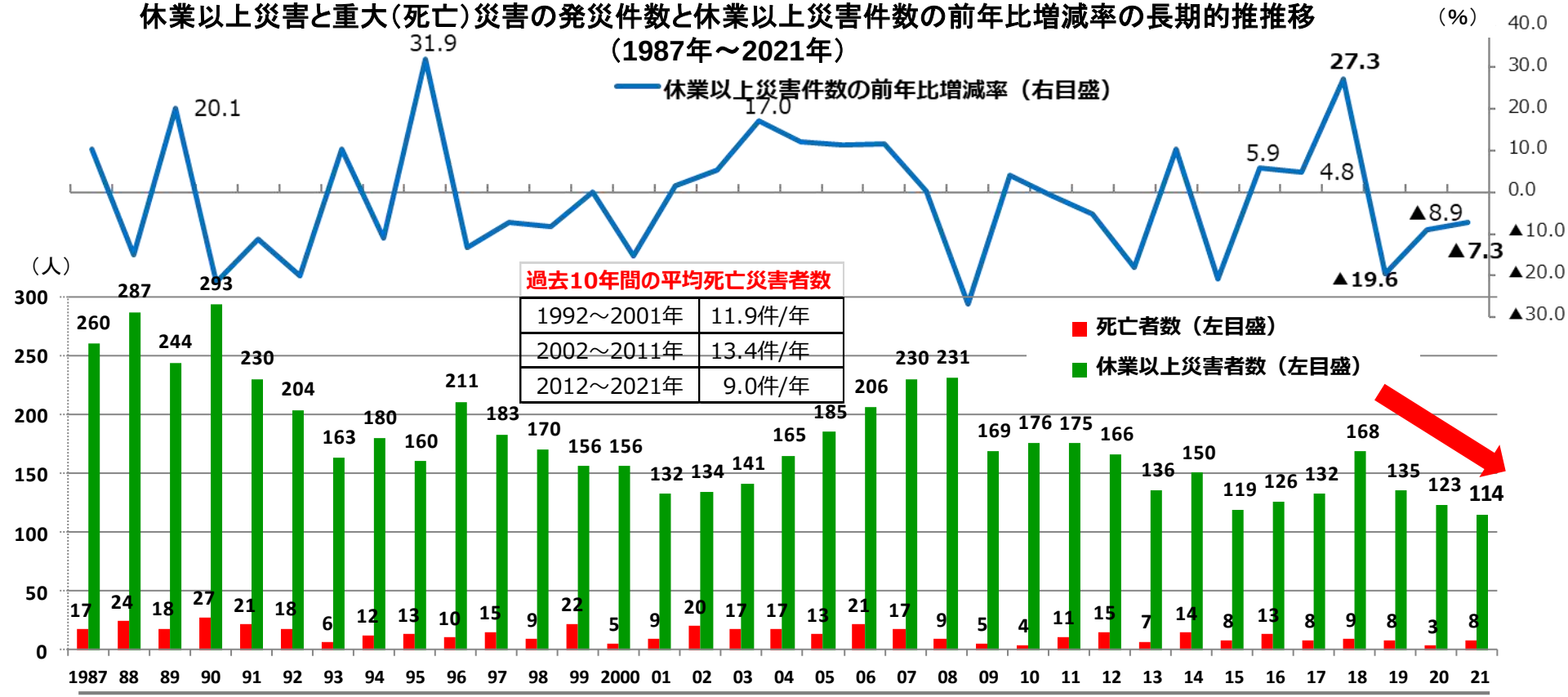


## 3. 休業以上労働災害と重大（死亡）災害件数の長期的推移

(1) 休業以上災害件数の発災推移を見ると、直近では2008年の231件から総じて減少傾向を辿るなか、2021年は114件と、2020年比▲7.3%減となる3年連続での改善傾向で推移。114件という労災件数の水準は統計開始の1980年以降では、最少件数。

(2) 但し、重大（死亡）災害件数については、2021年は8件と2020年比+5件の増加。過去の平均発生件数（10年単位ベース）から見ると、9.0件/年（2012～2021年）と着実に漸減傾向が見られるが、今後、重大災害の撲滅に向けて更に一層の現場における安全な作業の担保ならびに安全な作業体制の再徹底等が望まれる。

休業以上災害と重大（死亡）災害の発災件数と休業以上災害件数の前年比増減率の長期的推推移
（1987年～2021年）




過去10年間の平均死亡災害者数

| | |
|---|---|
| 1992～2001年 | 11.9件/年 |
| 2002～2011年 | 13.4件/年 |
| 2012～2021年 | 9.0件/年 |

©2022 The Japan Iron and Steel Federation All rights reserved

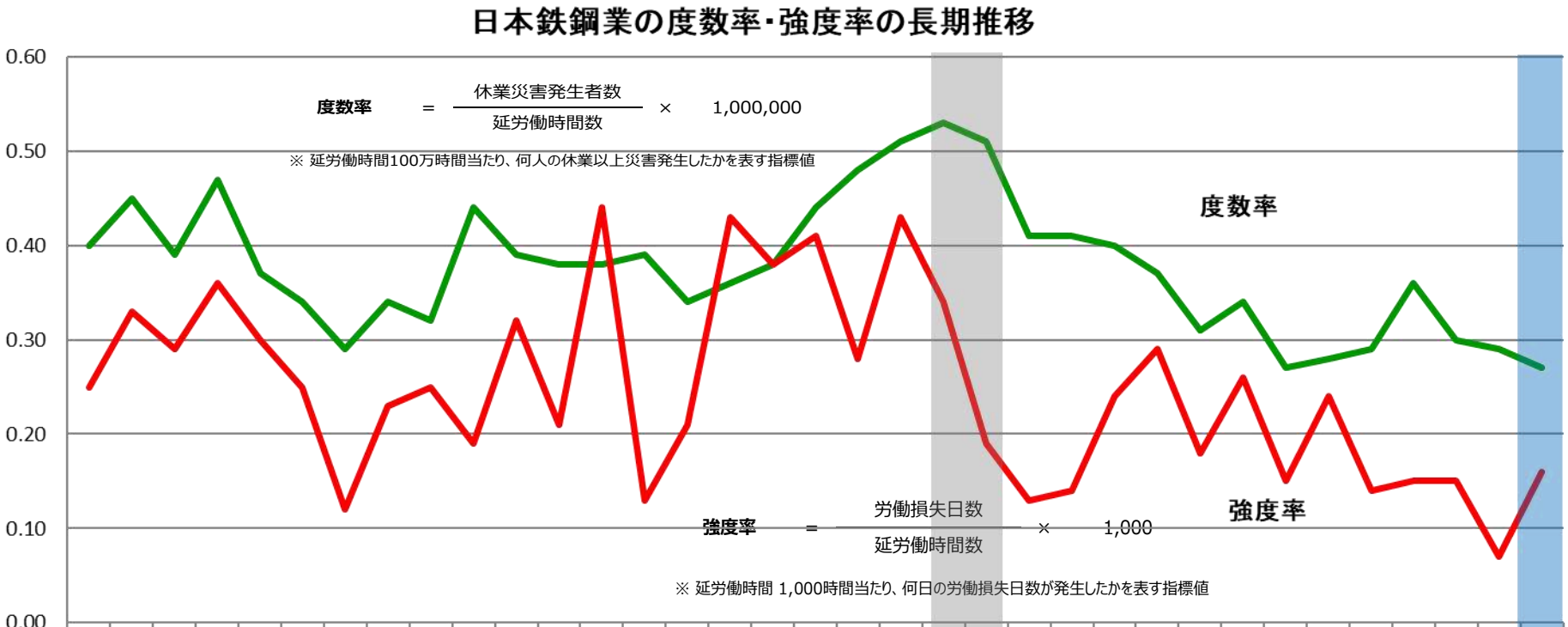
# 2021年の休業以上災害の発災状況について

一般社団法人 日本鉄鋼連盟

## 8. 度数率と強度率の長期推移

(1) 鉄鋼業の度数率ならびに強度率の推移を見ると、直近では2006年、2007年頃をピークに総じて低下・改善傾向を辿ってきたが、2021年の度数率は0.27と、3年連続での低下・改善基調で推移、1980年以降でも2015年と並び過去最低となるなど、総じて度数率でみた安全成績では着実に改善トレンドを辿っている。

(2) 一方、強度率については2006年をピークに概ね低下・改善傾向で推移してきたが、2021年は重大災害件数が8件と前年比＋5件の増加等を背景に、0.16と、過去最低を記録した2020年（0.07）から一転上昇・悪化に転じた。




| | 1987 | 88 | 89 | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 | 96 | 97 | 98 | 99 | 2000 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 度数率 | 0.40 | 0.45 | 0.39 | 0.47 | 0.37 | 0.34 | 0.29 | 0.34 | 0.32 | 0.44 | 0.39 | 0.38 | 0.38 | 0.39 | 0.34 | 0.36 | 0.38 | 0.44 | 0.48 | 0.51 | 0.53 | 0.51 | 0.41 | 0.41 | 0.40 | 0.37 | 0.31 | 0.34 | 0.27 | 0.28 | 0.29 | 0.36 | 0.30 | 0.29 | 0.27 |
| 強度率 | 0.25 | 0.33 | 0.29 | 0.36 | 0.30 | 0.25 | 0.12 | 0.23 | 0.25 | 0.19 | 0.32 | 0.21 | 0.44 | 0.13 | 0.21 | 0.43 | 0.38 | 0.41 | 0.28 | 0.43 | 0.34 | 0.19 | 0.13 | 0.14 | 0.24 | 0.29 | 0.18 | 0.26 | 0.15 | 0.24 | 0.14 | 0.15 | 0.15 | 0.07 | 0.16 |

出所： 一般社団法人日本鉄鋼連盟

©2022 The Japan Iron and Steel Federation All rights reserved

# 「神戸宣言」（製造業安全対策官民協議会：2017年10月策定）

1. 経営層がリーダーシップを発揮しつつ、安全担当や製造担当と接触し、かつ、常に現場の声を反映できるような体制の強化
2. 設備の老朽化等の厳しい現状がある一方、技術革新を生かした新たな取組も進んでいることを踏まえた、安全への投資の促進
3. ベテラン職員の減少、業務アウトソーシングの増加などの環境変化を踏まえた、階層別、協力会社を含めた安全人材の育成や安全教育の拡充
4. 重点的に取り組むべき課題を抽出し、その原因・対策などを検討し、検討結果を業界内外に共有

ⓒ2022 The Japan Iron and Steel Federation All rights reserved

## 1.　鉄鋼安全管理者研修会

◆8月下旬にオンラインにて開催

◆鉄鋼業における休業以上労働災害の発生状況とその特徴と課題のほか、ヒューマンエラーに関する未然防止対策等について聴講とともにグループ討議を実施

## 2.　安全衛生初期教育プログラム

◆8月下旬にオンラインにて開催

◆座学よるヒューマンエラーに関するリスクの他、KY等に関して講義と聴講

◆動画KY（安全配慮に欠けた危険な作業再現VTRを元にした動画を採り入れたKYトレーニング）とグループ討議を実施

## 3.　夏季安全衛生研修会

◆9月初旬にオンラインにて開催

◆“挟まれ・巻き込まれ”、“高温物との接触”、“墜落・転落”に関する災害の型に特化した類似災害事例の講演の他、危険と安全に関する心理学的アプローチからの特別講演等の実施

ⓒ2022 The Japan Iron and Steel Federation All rights reserved

## 4.　産業衛生運営委員会

◆高炉メーカー、特殊鋼メーカー等の安全健康衛生部門の衛生担当者、産業医で委員構成。

◆鉄鋼業における作業者の健康障害未然防止全般に関する課題、検討テーマ(コロナ感染、腰痛、喫煙、熱中症、化学物質管理、高齢者ロコモ対策等々）について討議・審議のほか、産業医分科会、衛生担当者分科会での検討テーマ選定、運営等について所要の対応を実施

## 5．　業態別安全衛生分科会ならびに地域別安全衛生分科会

◆昨年以降、今年足元までに発生した休業以上災害の傾向等も勘案して策定した業態別安全衛生分科会の各討議テーマ ならびに地域別安全衛生分科会の共通テーマに基づき、各分科会にて課題の抽出ならびに現場での好事例的な取組みについて、グループ討議等を実施

◆会員サイト等を通じたリモート討議やオンラインでの会合を実施し、未然防止対策への新しい視点、実践的な取組み事例等の有益な情報の事業場での共有、協力会社への水平展開

➡ 業態別は既に7月に実施、地域別は9月下旬から11月初旬にかけて実施予定

ⓒ2022 The Japan Iron and Steel Federation All rights reserved

# 5．　業態別安全衛生分科会ならびに地域別安全衛生分科会

## 【2022年度 業態別安全衛生分科会 各テーマ】

① 高炉：　「ルール遵守への包括的取り組みついて」
② 特殊鋼：「安全意識、感性の向上」
③ 普通鋼：「挟まれ・巻き込まれ災害の未然防止対策について(設備面・管理面・教育面からのアプローチ）」
④ 鍛圧/合金鋼：「経験の浅い作業者にルールを守らせる実践的な方策」

## 【2022年度 地域別安全衛生分科会 共通テーマ】

◆ 「経験年数の浅い作業者へのルール遵守／ベテラン層を含めた安全意識向上のための実践的手法」

※　地域別は、北海道、東北、関東、北陸信越、中部、近畿中国・四国・九州の各地域で協力会社（各協力会等）の参画も踏まえてオンラインにて開催予定

ⓒ2022 The Japan Iron and Steel Federation All rights reserved